

タイトル	頭の中だけの人生
ポーランド語のタイトル	Głowa, w której żyję
テーマ *	a
名前	アガタ ディハ
ポーランド語の名前	Agata Dycha
学校名 * 2	ワルシャワ大学
学年	4年生
日本滞在歴	なし

皆さんは、今の皆さんの生活を楽しんでいますか？人間という生き物はとても面白いもので、自分が持っているものにはすぐ飽きるくせに、持っていないものについてはずっと夢を見続けます。何をかくそう、この私もそうでした。

私は、自分の「本当」の人生はまだまだ始まっていないとずっと思っていました。小学校の時は、「高校に入って新しい友達を作った時に、きっと私の人生が始まるんだわ。」と思っていました。が、実際は本当の人生なんか始まりませんでした。そして高校に入った時は、「この小さな町を出て、大都会のワルシャワに行けば、きっと私の人生が始まるんだわ。」と思いました。が、やはり何も変わりませんでした。そしてとうとう日本学科に入ってから、「ポーランドなんかつまらない。日本に行けば幸せになれるんだわ。」と毎日繰り返していました。

そんなある日、日本で行われたスキージャンプの大会をテレビで見ていると、びっくりすることが起こりました。アダム・マリシュが飛んだあと、カメラは突然、日本人の女の子を映したのですが、何と驚いたことに、その女の子はポーランドの旗を振っていたのです。

「ええ？ポーランドの選手を応援する日本人なんているの？」
私はその子についてもっと知りたくなって、フェイスブックで彼女を見つけ、友達になりました。そしてある時、その友達は次のように言いました。

「アガちゃんはいいなあ、ポーランドに住めて！人も優しいし、景色もきれいで、おまけにイケメンもいっぱいいるし！」

私は少し驚きました。

「ええ？それは全部私のセリフだよ。佳子ちゃんが羨ましいよ。日本に住めて。」

すると彼女は微笑んで、次のように言いました。

「そうだね。つまり、ポーランドも日本も、両方素晴らしいってことだね！アガは日本に留学したくてすごい頑張ってる。だから、今度私が日本について、何かうんざりすることがあったら、アガの視点で日本を見て、日本のいいところを見つけるよう頑張るよ！」

私はその言葉を聞いて、目から鱗が落ちました。「自分の国を異なる視点から見る。」その時から私は、ワジエンキ公園のクジャクの美しさ、グリツァンのアイスクリームのおいしさ、文化宮殿の夜景のすばらしさに気づき始めたのです。その友達には今でも感謝しています。

人はいつも「自分の本当の人生は、ここではない別の場所にある」と思いがちです。今あるものの大切さに気づかず、遠い未来やまだ叶わない夢についてばかり考えます。でも、このような考え方を改めなければ、「今」も、そして「ここ」も失ってしまいます。だから皆さん、今のこの時間を大事に大事に過ごしてください。今、皆さんが送っているような人生を、まさに夢見ている人がいるかもしれませんよ。

Podsumowanie(60-70 słów)

Niewielu jest ludzi, którzy potrafią się cieszyć z tego, co mają. Wszyscy wciąż wybiegamy myślami w przyszłość, oczekujemy, że gdzieś za horyzontem czeka na nas coś niezwykłego, zwlekamy z realizacją marzeń. Całkiem zapominamy o tym co tu i teraz. Przyjaźń z Japonką pomogła mi jednak zrozumieć, że prawdziwego życia niekoniecznie trzeba szukać na drugim końcu świata.